




洗濯物の確認

(対象：タテ型洗濯乾燥機・全自動洗濯機)





洗濯・乾燥できないもの (例)

洗濯も乾燥もできないもの

- 防水性のもの ※次ページ「注意」を参照
- 衣類の取扱い表示や組成表示のないもの
- 以下の表示のあるもの
 - ・  (水洗いはできない)
 - ・   (石油系溶剤でドライクリーニングできる)
- 芯地が多く、形くずれしやすいもの
ネクタイ・ブレザー・ジャケット・コート・スーツ・ツバのある帽子など
- 著しい収縮や変色、表面変化を起こすおそれのある素材
レーヨン・キュプラ・絹および混紡品など
- 形くずれや表面変化を起こすおそれのある生地
強燃系使用の生地・ジョーゼット・クレープ・ちりめんなど
- 毛倒れを起こす起毛製品 ベルベット・別珍など
- ウレタン(スポンジ類)の入ったもの
- 座ぶとん・クッション・枕など
- 表面の凹凸などが消えやすいもの
防シワ加工品・エンボス加工品など
- カーペット・水を通さないカーペットカバーやマット類
(裏にゴムなどが付いているもの)
- 色落ちしやすいもの ● 和服・和装小物など
- 皮革製品・皮革装飾をほどこしたのもの



乾燥できないもの

- 油や溶剤が付着したもの
 - 食用油・動物系油・機械油・灯油・ガソリン・美容オイル(ボディオイル・エステ系のオイルなど)
 - ベンジン・シンナー・アルコール・ドライクリーニング油など
- 皮革製のパッチの付いたジーンズなど
 - ・パッチ部分が熱で傷むことがあります。
- 以下の表示のあるもの
 - ・   (ドライクリーニングできる)
 - ・  (日陰の平干しがよい)
 - ・  (タンブラー乾燥はおさげください)
- のりづけした衣類
【槽内がのりで汚れる原因】
- 発泡ウレタン(スポンジ類)、ポリプロピレン繊維、樹脂(セルロース系)、手芸用ボンドなどを使ったもの
【油の酸化熱による自然発火や引火の原因】



洗濯物の準備

洗う前に

- 衣類の取扱い表示を確認し、コースを選ぶ。
- しみや部分汚れは、繊維の種類や、しみの内容に応じた方法で処理。
- 初めて洗う衣類は、色落ちや色移りについて確認。(色落ちしやすいものは、分けて洗う)



取扱い表示

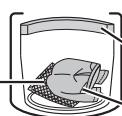
例



衣類・洗濯・脱水槽・パルセーター・糸くずフィルターへの傷付きを防ぐために

- ひもは結び、ファスナーは閉じる。
- 金属製のボタンや装飾品の付いたものは、裏返しにするか洗濯ネットに入れる。
- 毛玉や糸くず、毛羽立ちが気になる衣類は、裏返しにする。
- 硬貨・ヘアピン・カーテン金具などの金属片などは、必ず取り除く。
- 砂や泥はあらかじめ落とす。
- ふたに衣類やふる水ホースなどをはさみ込んだり、ふたの上に物を載せない。
【変形や破損の原因】
- ジーンズなどかさばる衣類や浮きやすいもの※は底に入れる。【衣類が飛び出し傷付く原因】
※ くつ下・ハンカチなどの小物類、フリース、化繊100%のもの、撥水加工を施したものなど

フリース素材など



パルセーター

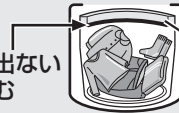
ジーンズなど

- 毛布コースで洗濯するときは、必ず別売の洗濯キャップや大型毛布用丸型ネットを使う。

● 洗濯物は入れ過ぎない

- 衣類はバルセーターより上に出ないように押し込んでください。【給水時浮き上がって水が飛散すると床が水浸しになったり、運転中に槽からはみ出して傷付く原因】

ここから上に出ないように押し込む



バルセーター

● デリケートな衣類は、洗濯ネットに入れる。

- 軽くかさばる衣類(フリース素材など)。
【運転中に飛び出し、衣類や製品を傷める原因】
- ブラジャーは市販の専用ネットに入れる。
【ワイヤーが飛び出し、異音や故障の原因】
- 入れる量は少なめにする。
【洗い・すすぎ・脱水性能の低下や脱水中の片寄り、飛び出しの原因】
- 洗濯ネットのファスナー金具はカバーに収める。
【運転中に接触し衣類や製品を傷める原因】

- 飛び出しによる衣類破れや製品のダメージは、保証の対象外となります。



注意

漏電やけがを防ぎ家財などを守るために

洗濯物・本体・周囲の壁などの損壊を防ぐために



● 防水性の衣類やシートは洗濯・脱水・乾燥しない

- レインコート・サウナスーツ・ウインドブレーカー・スキーウェア・
ダウンジャケット・理美容用クロス・オムツカバー・自転車、自動車などのカバー・
寝袋・防水シート・防水エプロン など



(水が抜けられないため脱水中に異常振動を起こし、転倒によるけが、本体・壁・床などの損壊、水漏れの原因)

● 毛布など大物は、折りたたんで重ねた状態で入れない(洗濯中に固まりやすいため脱水中に異常振動を起こし、転倒によるけが、本体・壁・床などの損壊、水漏れの原因)

取扱説明書をご確認のうえ、洗濯キャップ、または、大型毛布用ネットを使用して正しく入れてください。

● カーペット・水を通さないカーペットカバーやマット類(裏にゴムなどが付いているもの)は洗濯・脱水・乾燥しない

● 用途外には、使用しない

洗濯機本来の用途以外のものを洗ったり、脱水、乾燥しない。
(異常振動を起こし本体損壊やけがの原因)

※衣類の取扱い表示をご確認ください。

※異常振動が起こった場合、安全装置がはたりますが、槽が高速で回転しているときはすぐに止まりませ
んのでご注意ください。